

MEDIA ALERT

2013年7月16日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

住宅用販売強化に向け、新商品などサンプル展示

PV Japan 2013、基調講演にも参加

【東京ー2013年7月16日】ーソーラーフロンティア株式会社（社長：玉井裕人、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、2013年7月24日より東京ビックサイトで開催される「PV Japan 2013」に出展します（ブース番号P02-029）。今年のPV Japanでは、今月発表される予定の新型太陽電池モジュールや設置時間を大幅に短縮する施工方法などのサンプルを展示いたします。

- **新型太陽電池モジュール**：ソーラーフロンティアが独自開発したCIS技術は今年で20年の節目を迎えます。ソーラーフロンティアのCIS薄膜太陽電池モジュールは変換効率14.6%のチャンピオンモジュールを国富工場の生産ラインで達成するなど、着実な進化を遂げてきました。PV Japanでは、ソーラーフロンティアが自信を持って送り出す新型太陽電池モジュールのサンプルを展示いたします。
- **新施工方法**：PV Japanではより施工時間や作業負担を少なくする施工方法を展示するだけでなく、施工方法を実演いたします。この新たな工法を使えば、施工時間を約4割短縮できるだけでなく、屋根に取り付ける金具やモジュールを固定する部品数を大幅に削減することで、屋根への負担や施工コスト低減に貢献できます。
- **基調講演**：7月24日午後2時30分から開催されるPV Japan Executive Forumでは「固定価格買取制度で広がる太陽光発電、さらにその先を目指して」と題して議論が行われることになっており、当社の取締役副社長執行役員 平野敦彦が講演を行います。詳細は、PV Japanホームページ (<http://www.jpea.gr.jp/pvj2013/>) をご覧ください。

ソーラーフロンティアが独自開発したCIS技術は経済性と環境性に優れており、高い品質と信頼性のCIS薄膜太陽電池モジュールを宮崎県で一貫生産しています。ソーラーフロンティアはより競争力のあるCIS薄膜太陽電池モジュールを提供していくことで、再生可能エネルギーの普及に貢献してまいります。

以上

【ブースイメージ】



【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(年産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPVm 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 ブランド&コミュニケーション部 中島・八宮

TEL: 03-5531-5792